



サンシュユ [山茱萸]

落葉 / 中高木 / 木本植物 / 外来種



科名 ミズキ科 (APGⅢ)

特記 生長：やや速い

早春、新芽が伸びる前に淡黄色の花をたくさんつける。一つの花は小さいが、球形にまとまり枝一面が黄色く染まる。秋の紅葉と赤い果実も魅力的。野鳥の好餌でもある。樹肌がカサカサした感じに剥がれ、樹形とともに野趣がある。葉裏の葉脈の基部ごとに褐色毛が密生する。



緑葉



花



紅葉



実

Memo

中国名で「山茱萸」と書く、江戸期に薬用として渡来。種を抜き干した果肉からは果実酒もできる。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期			■										
果 実											■		
紅 葉												■	
施 肥		■								■			
剪 定		■											■

好みの環境				
日 当 り	陽	○	○	陰
土 壌	乾		○	湿
寒 さ	強	○		弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○			○	○	○

ポイント 日当たりのよい場所に植えたい。日陰では花付が少なくなる。花後、長い枝を四方へ伸ばす。斜めに伸ばすため、野趣はあるが樹形がまとまりにくい。数年置きに強剪定し樹姿を整えるとよい。

剪 定 花芽は短枝につくので、長枝は5～6芽残して切り詰める。翌年出る芽が短枝となり花をつける。1年目の枝は節間が長い長枝、その側枝は節間の短い短枝になる。

病虫害 病害はうどんこ病、とうそう病（葉に褐色の斑を生じる）、虫害はカイガラムシが発生することがある。幹に穴をあけるテッポウムシ（カミキリムシの幼虫）は、木屑を見つけ次第駆除する。